

令和4年 第12回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和4年 第12回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和4年12月23日（金） 13:40～15:00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 **【教育長・教育委員】**  
西田教育長、畠山委員、片山委員、小林委員  
**【事務局】**  
迫田教育局長  
（企画総務課）川邊課長、堀室長、佐藤主任主事、河野主事  
（学校施設課）河野課長  
（学校教育課）重盛課長  
（教育情報研修センター）堀之内所長  
（生涯学習課）長田課長  
（保健給食課）井上課長  
（文化財課）井田課長補佐  
（保育幼稚園課）佐々木課長、横山係長、佐藤主任主事

4 報 告

番号	件名	説明者
報告第47号	令和4年第9回宮崎市議会定例会（12月）の報告について	教育局長
報告第48号	新型コロナウイルス感染症に係る対応について	教育局長
報告第49号	令和4年度第3回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について	学校教育課長
報告第50号	臨時代理の報告について	教育局長

西田教育長	<p>それでは、定刻になりましたので、ただいまから第12回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者はいません。</p> <p>また、本日は松尾代表教育委員が欠席となっています。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、片山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入る前に、進行の都合上、資料11ページ「5 その他」の報告事項「(1) 市立清武幼稚園の今後の運営方針の検討について」、保育幼稚園課から説明をお願いします。</p>
佐々木保育幼稚園課長	<p>市立清武幼稚園の今後の運営方針の検討についてご説明します。本市では、少子化や共働き世帯の増加等の影響により幼稚園利用者が減少しており、清武幼稚園においても利用者が定員に満たない状況が続いています。また、清武地区にある他の私立幼稚園・認定こども園においても、幼稚園利用者が定員に満たない状況が続いており、今後も大幅な増加は見込めないことから、清武幼稚園の今後の運営について、検討を開始することとしました。</p> <p>これから、配付した資料を用いて、詳細についてご説明します。なお、宮崎市立清武幼稚園は教育施設ですが、宮崎市教育委員会の権限に属する事務の補助執行規程に基づき、子ども未来部が市立幼稚園の管理に関する事務を行うこととなっていますので、保育幼稚園課よりご説明をするものです。</p> <p>はじめに、「1 清武幼稚園の現状及び宮崎市における就学前児童の状況」について説明します。「(1) 清武幼稚園の概要」に清武幼稚園の基本情報を載せています。清武幼稚園の利用定員は50名で、平成14年に建てられたため築年数は20年です。</p> <p>次に、「(2) 市全体の就学前児童推計」についてです。就学前児童は平成27年の実績から令和6年までの推計で約3,000人減少する見込みで、少子化が進んでいることがわかります。「(3) 市全体の1号認定者の利用率(各年4月1日時点)」に満3歳以上で幼稚園等で教育を希望する児童の利用率を載せていますが、平成31年以降、7割台と定員割れの状況が続いています。</p> <p>次に、「(4) 清武幼稚園入園児童数の推移」についてです。資料に平成29年度からのデータを載せていますが、ご覧のとおり、定員50名に対し、毎年定員割れが続いている状態です。現在の在園児童は、途中入園があったため12月現在では合計10名ですが、令和4年5月1日時点では9名で、園児数が1桁で運営している期間がありました。</p> <p>裏面をご覧ください。「2 保護者アンケート及び第1回保護者との意見交換会の状況」について、ご説明します。</p> <p>清武幼稚園の今後のあり方を検討していくにあたり、まず保護者アンケートを実施しました。対象は全世帯で、施設に関する意見や、集団教育が難しくなることについてのご意見等を伺いました。アンケート結果について主なものを載せていますが、「施設については満足している」とのご意見をいただきました。また、保護者全員が、「園児が少なくなっても、最後まで通園したい」とのご意見でした。</p> <p>次に「(2) 保護者との第1回意見交換会(R4.8.26実施)」ですが、アンケートの結果を踏まえ、本年8月26日に意見交換会を実施しました。市としては、他の私立幼稚園の状況や、市全体の</p>

	<p>子育て施策のことも踏まえて検討しなければならないこと、また、アンケートで保護者全員から「最後まで通園したい」との回答があったことから、仮に廃止になるとしても、在園児が卒園するまでは運営を継続することを考えたいことを保護者へご説明しました。</p> <p>続きまして、「3 今後の運営方針（案）について」、ご説明します。ただいまご説明した保護者アンケートおよび意見交換会を踏まえ、市としては、入所の状況を考慮し、令和6年度末もしくは令和7年度末をもって廃止することを今後の運営方針案としました。</p> <p>廃止の時期を令和6年度末もしくは令和7年度末とする2通りの案があるのは、来年度の募集で、年少クラスとなる3歳児の入園希望者がいた場合はその園児が卒園する令和7年度末まで運営を行い、年少クラスの入園希望者がいなかった場合は1年前倒しで令和6年度末まで運営する方針としたためです。</p> <p>以上の理由で、資料作成時点では2通りの案としていましたが、令和5年度の入園児募集を12月16日で締め切った結果、年少クラスに1名、年中クラスに1名の入園希望があったことから、現時点では、廃止時期を令和7年度末とする方針案で調整を行う予定としています。</p> <p>次に、「4 第2回保護者との意見交換会の状況（R4.11.9実施）」についてです。11月9日に、保護者の皆様との2回目の意見交換会を開催し、今後の運営方針案の内容をご説明しました。意見交換会では、保護者より「良い施設なので、自分の子が卒園した後も園を残して欲しい」という意見や、園の宣伝に関する意見等があげられたところです。</p> <p>市からは、第1回の意見交換会と同じ内容となりますが、他の私立幼稚園の状況や、市全体の子育て施策のことも踏まえて検討しなければならないこと、在園児が卒園するまでは運営を継続することを考えたいことをご説明しました。また、その場では言えなかった意見を集約するため、保護者の皆様に対して個別面談の期間を約1ヶ月ほど設けましたが、特に他のご意見はありませんでした。</p> <p>次に、「5 関係団体等への説明・審議」についてです。市立幼稚園を運営する上で関係する議会、教育委員会、子ども・子育て会議等の団体等に、今後、審議依頼や説明を実施していく予定です。このため、本日、教育委員会定例会で説明をしました。</p> <p>最後に、「6 今後の流れ」についてです。令和5年5月までに、市で実施する施設評価において最終的な運営方針についてパブリックコメント等を経て決定する予定としています。</p> <p>今後は、廃止という方針案をもって、関係団体等との調整を行っていくこととなりますが、廃止が決定した後は、条例等の改正が必要となってくることから、改めて教育委員会定例会で審議いただくことになると考えています。</p> <p>今後も、適切な時期に報告し、審議等をお願いすることとなりますので、引き続きよろしくお願ひします。説明は以上です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明に対して、ご質問はございませんか。来年度に、年少・年中クラスに1人ずつ入園することですね。</p>
佐々木保育幼稚園課長	<p>はい。年少クラスに入園する3歳児は今のところ1人です。今後のことも考え、お母様に入園希望者の状況についてもお伝えしてまいりまして、「それでも入園をしたい」と希望されました。</p>

西田教育長	そのような経緯ということですね。他にありませんか。
畠山教育委員	入園希望者の人数を見て、児童数の少なさに驚き、大変心配になったのですが、清武町今泉甲という所在地には何名の子どもがいるのでしょうか。他の園に通う子どもが多いのですか。
佐々木保育幼稚園課長	保育園に入園している事例もあると思いますが、近隣の幼稚園の状況を申し上げますと、定員約215名に対して現在121名の利用となっています。
西田教育長	全体的に、子どもが減っているということですね、
佐々木保育幼稚園課長	確かに幼稚園の数に対して子どもが減っている状況ではありますが、幼稚園以外にも認定子ども園や保育園の需要もあります。
西田教育長	ありがとうございました。 他に質問がないようでしたら、ここで本件に係る質疑は終了します。保育幼稚園課長、ありがとうございました。 それでは、会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。「(1) 教育長報告」については記載のとおりです。次に、「(2) 委員報告」については、記載のとおりですが、11月25日(金)に開催された「地域・家庭・学校と教育委員会との意見交換会」について、教育委員の皆様からご感想をお伺いします。
畠山教育委員	地域の代表の方や先生方の非常に心熱い取組に感心したところでした。このような機会を設けていただくことで、現状の課題や取組を具体的に知ることができました。 地域、学校、家庭が様々なことに取り組んでいますけれども、それらの取組によって宮崎の宝を掘り起こしながら自分たちの出会いを繋ぎ、そしてキャリア教育へ進んでいくというステップに生かされていくことを願いながら、話を聴かせていただきました。 子ども達にとっても大人にとっても、出会うということは大きな財産です。学校という枠や地域・家庭という小さな社会を超え、このような人との出会いがきっかけとなって、結果的に社会に羽ばたいていく子ども達の大きな力になっていくと思います。 是非、今後もこのような取組に力を入れてほしいと感じたところでした。以上です。
小林教育委員	当日、様々な立場の方が参加されて、特にキャリア教育という視点で議論ができたというのは非常に大きな一歩だと思っています。 株式会社インタークロスの小川代表取締役や学校支援コーディネーターの萩原さん、PTA協議会の岡本会長のお話等を聴くことができ、参加された学校の先生方は各視点でのご意見をいただいたことで、より具体的な議論ができたのではないのでしょうか。 また、私達には先日、事前に勉強会を実施していただいていたこともあり、今回改めてキャリア教育について広い視点で考える機会となりました。引き続き、キャリア教育の推進に向けて取り組んでいければよいと感じました。以上です。
片山教育委員	子ども達が地域の中で育つことの大切な意味を多方面から知ることができて、大変参考になりました。子どもと地域との交流で、特に学校と地域の菓子屋の事例は印象深かったです。子どもと地域住民が触れ合うことで、地域の方も子ども達の姿から元気をもらえますし、子ども達も自分達が地域で何をしたいのか考え、意見を反映しながら実践する機会になります。話を聴いていて、地域の方とそのように関わった子ども達はその地域に恩返しをしたいという気持ちになる、良い循環が生まれていると思いました。

	<p>また、私自身も保護者でありながら、地域の一員でもあることを改めて実感したところでもありました。私はこの意見交換会の後、12月から毎朝、登校する自分の子ども達と一緒に歩くようになりました。そして、別の地区の子ども達が横断歩道を通るときに挨拶をしていると、私自身は多くの子どもが通るので顔をなかなか覚えられないのですが、子ども達は私を覚えてくれています。登校時以外で会ったときに、「〇〇ちゃんのお母さんは、朝、いつも横断歩道にいるよね」と声をかけてくれて、そこからさらに交流ができるようになりました。これからも、子どもから話しかけられたときに、その表情や雰囲気から気持ちを察して子どもの話を親身に聴ける、信頼できる地域のお姉さんという存在になれたらよいなと思ったところです。</p> <p>地域の人が見守っていることを子ども達が実感できることで、子どもは安心して過ごすことができます。今後、地域の人から子どもが愛されていることを、子ども達に伝えられる環境を作っていけたらよいと思いました。</p> <p>今回の意見交換会は、私の新たな行動のきっかけにもなり、大変有意義なものでした。ありがとうございました。</p>
西田教育長	<p>ご感想ありがとうございました。大変良い意見交換会だったということですね。</p> <p>続きまして、「(3) 教育局長報告」ですが、「令和4年第9回宮崎市議会定例会(12月)」の報告です。こちらは、後ほど議事の報告の中でお願いします。</p> <p>続きまして、「(4) 各課行事報告等」は記載のとおりですが、「②学校教育課」行事にある、11月17日(木)に開催された「第3回宮崎市いじめ防止対策委員会」については、後ほど議事の報告の中でお願いします。これまでの報告に対する質問や、各行事に参加された委員の方でお気づきになった点やこれからの課題、また感想等ありましたら、お願いします。</p>
委員	なし。
西田教育長	<p>それでは、他にないようですので、「4 議事」に入らせていただきます。3ページをご覧ください。本日、議案はございません。報告が4件です。</p> <p>はじめに、報告第47号「令和4年第9回宮崎市議会定例会(12月)の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
迫田教育局長	<p>報告第47号「令和4年第9回宮崎市議会定例会(12月)の報告について」、報告します。資料5ページ、別紙1の「令和4年第9回宮崎市議会定例会(12月)の概要」をご覧ください。</p> <p>12月市議会定例会については、11月28日(月)から、12月14日(水)までの日程で開催されました。</p> <p>まず、一般質問については、教育委員会に対し、11名の議員から69の質問をいただきました。いただいた質問は別紙2のとおりで、主なものとしては、「新型コロナウイルス対策について」、「部活動の地域移行について」、「不登校対策について」などの質問がありました。</p> <p>次に、議案の状況については、別紙1「提出議案」の欄をご覧ください。今回、教育委員会関連議案として、議案第118号「令和4年度宮崎市一般会計補正予算(第12号)案」と、議案第131号から134号までの4件(宮崎科学技術館、大淀川学習館、宮崎</p>

	<p>市生目の杜遊古館、安井息軒記念館)の指定管理者の指定についての案件でした。</p> <p>それでは、それぞれの案件について説明します。</p> <p>まず、議案第118号「令和4年度宮崎市一般会計補正予算(第12号)案」については、教育委員会関連として、別紙1のとおり、20の事業で補正予算の要求をしました。内容は、前回の教育委員会で説明したものです。こちらの一般会計補正予算案については、原案のとおり可決されています。</p> <p>続きまして、議案第131号から133号の指定管理者の指定については、公益財団法人宮崎文化振興協会を指定管理者に指定し、議案第134号の指定管理者の指定については、特定非営利活動法人安井息軒顕彰会を指定管理者に指定したものです。こちらも原案のとおり可決されています。</p> <p>最後に、議案の可決にあたり、文教民生委員会の委員長報告の中で意見・要望がありましたので、ご報告します。</p> <p>議案第131号から第134号の4つの指定管理者の指定に係る議案について、「指定管理者選定委員と応募団体の利害関係がないことを口頭で確認しているようであるが、今後は、文書にて確認するよう努められたい」との意見・要望でした。こちらの意見・要望は、他の委員会等の指定管理についても同様で、教育委員会だけではなく市として統一した取組やルールが求められます。今後、統一されたルールづくりに取り組むたいと考えています。報告は以上です。</p>
西田教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第47号について、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>他にないようでしたら、次に、報告第48号「新型コロナウイルス感染症に係る対応について」、事務局から説明をお願いします。</p>
迫田教育局長	<p>報告第48号「新型コロナウイルス感染症に係る対応について」ご説明します。本日お配りしている「当日配布 報告第48号 別紙1」をご覧ください。</p> <p>「1. 小中学校における感染拡大防止対策について」です。</p> <p>まず、別紙2の「小中学校及び教育委員会事務局における感染確認状況について」をご覧ください。令和4年11月14日から12月18日までの感染状況をまとめています。11月14日以降は、71校で児童1,188名、生徒434名、教職員99名、事務局職員8名の計1,729名の感染が確認されています。</p> <p>次に、臨時休業及び学年閉鎖について、臨時休業はありませんでしたが、12月6日から8日までの期間、小学校で1学年、12月13日から15日までの期間、中学校で1学年の学年閉鎖が行われました。</p> <p>学級閉鎖については、「4 学級閉鎖」の表のとおりですが、11月28日以降は、毎日いずれかの学校で学級閉鎖が行われている状況です。</p> <p>続きまして、感染者集団(クラスター)の確認状況ですが、感染者集団は確認されていません。</p> <p>別紙1をご覧ください。「2. 学校生活・部活動 及び 教育委員会所管施設の対応について」です。12月9日に、医療緊急警報が発令されたところですが、学校等の対応については、10月5日に</p>

	医療緊急警報から医療警報へ変更された時点と変更はありません。資料の説明は以上です。
西田教育長	ただいま説明のありました報告第48号について、ご質問はございませんか。
片山教育委員	学年閉鎖、学級閉鎖が毎日行われていますが、この閉鎖期間に、オンライン授業が実施された学校・学級はどのくらいありましたか。実施数が把握できるデータはあるのでしょうか。
学校教育課重盛課長	結論として、データはありません。ただ、教育委員会で10月にオンライン授業の状況について調査を実施していきまして、校長会でも報告をしています。調査結果では、オンライン授業の実施数は増えていることが明らかになっています。しかし、まだ不十分だったので、学校には引き続き体制を整えて必要な用具等を購入し、オンライン授業の実施に努めるようお願いしています。 片山委員からご質問がありました。全校でオンライン授業の対応ができるよう、進めていきたいと考えています。以上です。
迫田教育局長	現在の体制の話が出ましたので、併せて報告します。 当初は、全ての学校で保護者からの要望があればオンライン授業の対応ができるよう、11月中の環境整備の完了を目指していました。進捗は少し遅れていて、現在の報告では、保護者からの求めに応じてオンラインに対応できるのは全小・中学校の8割です。今後、100%に向けて頑張っていきたいと思っています。
西田教育長	あと20%を目指して、できるだけ早く整備を進めていこうと話をしているところでした。
片山教育委員	オンライン授業ならば、子どもはマスクを外して皆の顔を見ながら学ぶことができますよね。普段、子ども達はマスクをつけて、お互いの表情が見えない中、学校で過ごしています。オンライン授業の一つのメリットとして、友達や先生の表情がわかるのもよいのかなと思いました。
西田教育長	ありがとうございました。給食時の黙食等が話題になっていますが、本市としては、黙食は強制しない方針です。各学校での取組として静かな学級もありますけれども、市としてはできるだけ子どもたちが自由に過ごせるように、基本的に制限はしない方向で進めているところです。他にご質問はありませんか。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、次に、報告第49号「令和4年度第3回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について」、報告第50号「臨時代理の報告について」ですが、こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
西田教育長	また、資料11ページ「5 その他」の「(2)宮崎市公立夜間中学設置基本計画(案)のパブリックコメント実施結果について」も、公表前の案件であることから、報告第50号の後に非公開のまま、続けてご説明したいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開とします。
西田教育長	それでは、ここで非公開を解除します。 次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。

委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、次に、資料11ページ「5 その他」の「(3) 令和4年度中学生と教育委員会との意見交換会について」、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	「(3) 令和4年度中学生と教育委員会との意見交換会について」、ご説明します。お手元のA4の資料をご覧ください。 この意見交換会は、中学生の素直な意見を聞き、円滑な学校運営や今後の教育施策の参考とすることを目的に、毎年開催しています。本年度は、1月30日(月)の14時30分から16時30分の約2時間で開催したいと考えています。 場所は、宮崎市教育情報研修センターです。 出席者は、教育長、教育委員の皆様と、毎年、ローテーションで5校の生徒に参加してもらっています。今年度は、宮崎西中学校、赤江中学校、青島中学校、本郷中学校、田野中学校から2名ずつ、計10名の中学2年生に参加してもらう予定です。 本年度のテーマは、資料に記載しているとおり、「①学校に行きたい、楽しいと思うときについて」、「②自分たちの学校や地域の魅力について」の2つのテーマで意見交換を行う予定です。 委員の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。説明は以上です。
西田教育長	ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、次に、「(4) 令和4年度宮崎市教職員教育研究論文表彰式及び宮崎市教職員研究論文・研究員研究発表会について」、事務局から説明をお願いします。
堀之内教育情報研修センター所長	2月17日(金)13時50分から、教職員の研究論文の表彰式、その発表、また、研究員の研究発表会を行う予定ですので、机上にある依頼文のとおり、教育委員の皆様へ出席依頼をさせていただきます。研究論文は、現在100を超える論文が集まっています。審査後に、当日、表彰式と発表を行います。 また研究員の研究発表会は、二つ発表が行われる予定です。 出欠の連絡は電話でもメールでも結構ですので、担当の方まで、よろしくお願いいたします。以上です。
西田教育長	ご参加よろしくお願いいたします。この件についてご質問はございませんか。
委員	なし。
西田教育長	他にないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	次回の定例教育委員会は1月18日(水)、大淀川学習館にて、13時40分から15時の間で開催を予定しています。場所をお間違えのないよう、よろしくお願いいたします。定例会終了後は、大淀川学習館の視察を計画しています。以上です。
西田教育長	ただいま説明のあった通り、次回定例会は大淀川学習館で開催しますので、よろしくお願いいたします。続きまして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
川邊企画総務課長	( 行事予定説明 )
西田教育長	以上をもちまして、第12回定例会を終了します。